

■ 尾州景気観測

再び悪化して 1.58 ポイントに

「テキスタイル&ファッション」誌は、毎年2回、業界アンケートによる尾州産地景気短期観測（尾州短観）を実施しているが、2005年6月度は1.58ポイントで、2004年12月の1.80ポイントを下回った。これは景気の先行き不透明感で、受注が遅れているためで、今後の回復に関しても、92%が「時期は判断できない」としている。（5段階方式、対象はFDC参加12団体）

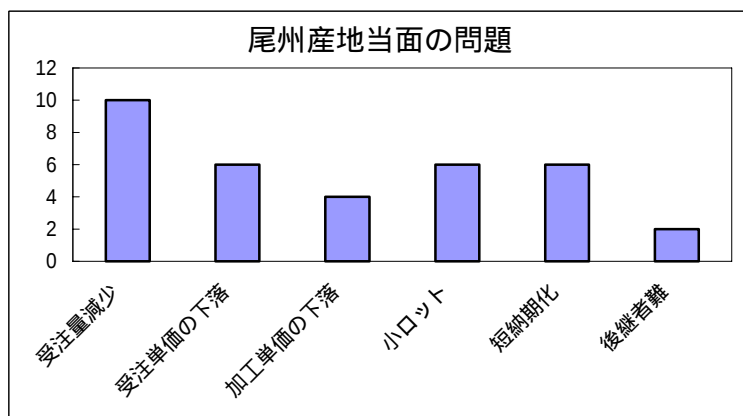
受注量減少が悩み

今回はシーズンのには05～06年秋冬物が対象となるが、回答は「大変悪い」が5団体、「やや悪い」が7団体で、「普通」、「やや良い」、「大変良い」はいずれも皆無だった。これは尾州産地の本命シーズンである秋冬物取引でアパレルメーカーの期近引付がますます強まっている上、受注量そのものが縮小しているためと思われる。

これを反映して05～06年秋冬物の進行状況は、昨年に比較して82%が「遅い」としており、「昨年並み」は18%にとどまった。また受注量予測も100%が昨年より

「少ない」と回答している。

こうした現状に対して回復時期を聞いたところ12団体中11団体92%が「判断できない」と回答しており、「年内に回復」は1団体だけであった。昨年12月、05年の春夏物の回復を反映して1.80ポイントまで回復した尾州景気短観は再び下降したことになるが、最大の問題点は受注数量の減少で10件（複数回答）に達した。単価の下落、小ロット、短納期化の各6件で、深刻な問題となっている。



尾州産地景気短観指数推移

03年6月	1.54
12月	1.72
04年6月	1.45
12月	1.80
05年6月	1.58

（アンケート協力団体＝愛知県織物修整組合連合会、尾北織物工業協同組合、尾州織物工業協同組合、IWSノミニーコンパニーリミテッド日本支社アジア開発センター、愛知羊毛紡績会、名古屋毛織工業協同組合、尾西毛織工業協同組合、尾西商工会、愛知県燃糸工業組合、愛知県毛織物整理協同組合、尾北毛織工業協同組合、津島毛織工業協同組合＝順不同）